

# 大会開催要項

- 1 名称 PUMA CUP 2008 第14回全日本フットサル選手権大会 埼玉県大会(施設予選)
- 2 主催 (財)埼玉県サッカー協会
- 3 主管 埼玉県フットサル連盟・全日本フットサル選手権埼玉県大会運営委員会
- 4 協力 関東フットサル施設連盟 埼玉ブロック
- 5 期日/会場 《一般予選》

平成20年8月より各施設にて開催

FUTSAL CLUBE JOGA 8月24日

フットロコ大宮 8月24日

FFC東川口 8月31日

クーバー武蔵浦和 9月7日

所沢フットサルパーク 9月14日

フットサルクラブ北越谷 9月14日

岩槻フットサルコート 9月14日

詳細については各施設に問い合わせる事

一般予選決勝ラウンド 9月20日 FFC東川口

## 《予選リーグ》

〔1次ラウンド〕

平成20年9月23日(祝)・富士見市民体育館

平成20年10月5日(日)・彩の国・くまがやドーム

## 《決勝トーナメント》

日程・会場未定

- 6 表彰 優勝・準優勝チームに表彰状及び賞品を授与する。
- 7 参加資格 平成20年度財団法人日本サッカー協会のフットサル個人登録を行った、16歳以上(但し高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。)の選手であること。  
1項の登録された選手であり、平成20年度財団法人日本サッカー協会のフットサル大会チーム登録を行ったチームであって平成20年度財団法人日本サッカー協会のフットサル選手個人登録申請を行い、試合当日必ず、フットサル選手証を持参していること。  
(如何なる場合でも選手証が無い場合は出場不可。仮選手証(半券・領収書)では出場不可  
但し、一般予選(施設出場)チームに限り、フットサル連盟が認めた場合は、仮選手証(受付後の有効のみ)で出場出来る。なお、必ず身分証明書(顔写真付)を持参のこと。  
登録先：(財)日本サッカー協会 WEB登録 フットサル個人登録(下記参照)  
<http://www.jfa.or.jp/>  
第2項の定めるチームには、1チームあたり4名までの外国籍選手の登録を認める。但し、試合中同時にピッチ内に2名を超えてはならない。  
女性の登録(出場)を認める。  
財団法人日本サッカー協会発行のフットサル大会登録票を持参していること。  
参加チームは、スポーツ安全保険(スポーツ安全協会)に加入していること。  
(参加決定後提出あり)  
本大会登録選手は、出場都県以外の当年度都県全日本フットサル選手権に、登録又は出場していない選手であること。(発覚した場合は失格とする)

チームを構成する選手の過半数は、出場都県の在住・在学・在勤いずれかであること。

8 参加費 25,000円(JFA・SFA・SFF登録費含む)

勝ち上がると別途参加費が必要です。

9 参加申込 一般予選は、埼玉県フットサルリーグ2008 1部・2部参加チームは免除される  
3部リーグ参加チームは、開催施設の施設予選に出場すること。

やむなく開催施設以外に申し込む場合は、事前に所属施設に相談をすること

参加申込みにエントリーし得る人数は、1チームあたり19名(役員4名・選手15名)を上限とする。

参加申込みは、全日本フットサル選手権大会登録票写し及び、スポーツ安全保険(登録者全員の写し)を持参の元、予選開催施設に申し込むこと

選手変更は、出来ない。関東大会出場時3名の追加変更が出来る。

\*選手変更の対象となる選手は、本大会の定める参加資格を満たすこと。

10 申込締切日 各施設申し込み期限による

11 ユニフォーム

今大会登録後は、背番号の変更及びユニフォーム色の変更は、一切認めない。但し、関東大会時には、大会事務局の範囲で行うことが出来る。

ユニフォームの広告表示については、財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認を得た場合のみこれを認める。(申請料¥10,500申請用紙は都県協会にある)

大会当日は必ず申請書コピーを、持参し事務局に提出すること。

ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正の他に副として正と異なる色のユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)を本大会申込書に記載し必ず携行すること。但し、一般予選においては、必ず、ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)1着を用意すること。尚、施設代表チームも予選リーグ戦(1次ラウンド)までには正・副の2着を用意すること。

すべてGKも同様とする。

審判と同一または類いのユニフォームは用いる事が出来ない。ゴールキーパーについても同様である。

トラウザーの着用を認める。但し登録(ショーツ)と色が違うものは認めない。

背番号は必ず本大会登録書に記載された選手固定の番号をつけること。番号は適当な大きさで見やすいものとする。(1番~15番の通し番号が望ましい。)

ゴールキーパーのユニフォームについては、フィールドプレーヤーとしてプレーしていた競技者がゴールキーパーとしてプレーする場合は、ゴールキーパーのユニフォームと同色・同デザインであることを基本とする。また、事前に登録された色彩のゴールキーパーユニフォームの中から選択して着用する。

また、競技者が着用するユニフォームにはその競技者自身の背番号を付けなければならない。

尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断によりゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用ができる。

12 競技規則 平成20年度財団法人日本サッカー協会発行の「フットサル競技規則」および決定事項による。

本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場ができない。それ以降の処置については大会規律委員会で決定する。消化出来ない出場停止については、直近の大会等にて

処理される。

本大会中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

競技時間：一般予選に関しては次項を確認のこと

：2次ラウンド以降はプレーニングタイムとする。プレイタイムは別紙参照

ピッチサイズ：原則として40～31m×17～20m(会場の都合による)

使用球：日本サッカー協会認定のフットサル用ボールを主催者で用意する。(製品名未定)

シューズ：スパイクシューズは使用できない。(人工芝も同様)

(体育館の場合は、靴底はアメ色もしくは、ノンマーキング表示が確認できるもの・接地面が黒くないもののみ使用可能)

ベンチに着席できる人数は、フットサル大会登録票により当大会にあらかじめ登録され、試合前に提出したメンバー票に記載された交代選手7名・役員4名を含め11名を上限とする。

チームは必ず、**フットサル個人登録証(選手証)及を持参すること。**(マッチコーディネーションミーティング時及びキックオフ開始前にメンバー表と確認する。)

自チームの試合開始の60分前に両チーム責任者・審判とのマッチコーディネーションミーティングを行う。(欠席したチームは、不戦敗とする。)但し、一般予選については各施設に委ねる。

### 1.3 競技方法

一般予選は8分ハーフの予選リーグを行ない、各施設の1位が一般予選決勝ラウンドに進出。一般予選決勝ラウンドは8チームで行い、上位3チームが1次ラウンドに進出する。

予選リーグの順位は、勝点で決定する。尚、決しない場合は、得失点差、総得点、当該チーム同士の勝敗順で決定する。さらに決しない場合は、抽選によって決勝トーナメント進出チームを決定する。予選リーグ戦における勝ち点は、勝ち：3点・引き分け：PK勝ち2点/PK負け1点・負け：0点・不戦敗は-1点とし、不戦勝の得点は3：0とする。

決勝トーナメント(2次ラウンド)においては、トーナメント方式を行い、同点の場合はPK方式(3人制・4人目からVG)で決定する。

### 1.4 組合せ

組合せは、施設予選開催施設で決定する

施設予選決勝ラウンド開催施設からは上位2チームが進出する

### 1.5 審判

予選開催施設で担当をする

### 1.6 関東大会

本大会の上位チームは、出場義務を負う。

### 出場権

期日・場所： 後日発表

前日に代表者会議がある。

### 1.7 その他

参加資格に違反、その他不都合な行為のあった時は、大会規律委員会にはかりその選手又はチームの処分を決定する。

傷病の手当てについては、救急車の手配は行うが、その後についてはチームの責任において処置すること。

ごみは、すべて各チームで持ち帰る。捨てた場合は失格とし、今後の公式試合に出場禁止。

ボールを使つての練習は、決められた場所以外禁止とする。

試合開始時間前に出場選手は、審判チェックを必ず受けなければならない。怠った選手の出場は認めない。

大会は、参加者の負傷・傷害に対しては、一切の責任を負わないものとする。

参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。

### 1.8 問い合わせ

〔この大会についての申し込み等〕

各予選施設に問い合わせること